

製品名: ATP1AL1 ウサギポリクローナル抗体

カタログ番号: APRab07319

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	人間、ネズミ
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	115kDa

抗原情報

遺伝子名	ATP12A
別名	ATP12A; ATP1AL1; Potassium-transporting ATPase alpha chain 2; Non-gastric H(+)/K(+) ATPase subunit alpha; Proton pump
遺伝子 ID	479.0
SwissProt ID	P54707
免疫原	ATP1AL1 由来の合成ペプチド。アミノ酸範囲: 380-460

背景

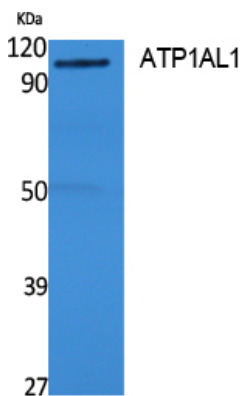
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、P型陽イオン輸送 ATPase ファミリーに属します。この遺伝子は、ウアバイン感受性

H⁺/K⁺-ATPase の触媒サブユニットをコードしており、ATP の加水分解と、細胞膜を介した H⁽⁺⁾ および K⁽⁺⁾ イオンの交換を触媒します。また、様々な組織におけるカリウムの吸収にも関与しています。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする 2 つの転写バリエーションが見つっています。[RefSeq 提供、2010 年 6 月],触媒活性: $ATP + H_2O + H^+(In) + K^+(Out) = ADP + \text{リン酸} + H^+(Out) + K^+(In)$ 、機能: ATP の加水分解と、細胞膜を介した H⁽⁺⁾ および K⁽⁺⁾ イオンの交換を触媒します。様々な組織におけるカリウムの吸収を担う。類似性: 陽イオン輸送 ATPase (P 型) ファミリーに属する。タイプ IIC サブファミリー。サブユニット: α (触媒) サブユニットと β サブユニットの 2 つのサブユニットから構成される。組織特異性: 皮膚と腎臓に存在。

研究分野

酸化的リン酸化;

画像データ



ATP1A1 ポリクローナル抗体を用いたラット胃抽出物のウェスタンブロット分析。二次抗体は 1:20000 に希釈された。